

ホームページ掲載用レジメン詳細(2021/10/31 改定)

【レジメン名】

SOX 療法

【適応疾患】

胃癌 進行・再発 術前補助 術後補助

【インターバル日数】

1 コース 21 日

【使用抗癌剤】

一般名/ 略号	投与法	投与時間	投与日
テガフル・ギメラシル・オテラシルカリウム/S-1 80mg/m ²	経口	2 回/日	day1～day14
オキサリプラチン/L-OHP 100mg/m ²	点滴静注	2 時間	day1

【注射スケジュール】

薬品名 投与量	目的	手技	点滴時間	d1	d2	...	d21	d1
生理食塩液 100mL プロイメド 150mg	吐き気止め	点滴静注	30 分	↓				↓
生理食塩液 100mL デキサート 4.95mg	吐き気止め	点滴静注	30 分	↓				↓
5%ブドウ糖液 250mL オキサリプラチン 100mg/m ²	抗癌剤	点滴静注	2 時間	↓				↓
生理食塩液 50mL	ルートフラッシュ	点滴静注	10 分	↓				↓

【内服スケジュール】

薬品名 投与量	目的	d1	d2	d3	d4	...	d14	...	d21	d1
エスワン錠 80mg/m ² 1 日 2 回 朝夕食後	抗癌剤	↓	↓	↓	↓	↓	↓			↓
グラニセトロンゼリー 2mg/回 1 日 1 回	吐き気止め	↓								
デカドロン錠 4mg/日 1 日 1 回 朝食後	吐き気止め		↓	↓	↓					

【遺伝子検査】

検査項目	測定意義
HER2 遺伝子検査	HER2(ヒト上皮細胞増殖因子受容体 2)は胃癌細胞に過剰に発現していることがあり、細胞の増殖に関与しています。HER2 過剰発現(HER2 陰性)が認められない場合は抗 HER2 抗体薬(トラスツズマブ)の有効性が期待できないため、当レジメンは通常 HER2 陰性の患者に適用されます。ただし HER2 陽性であってもトラスツズマブの使用ができない患者の場合は当レジメンが適用される場合もあります。

【副作用】

《主な副作用》 国内第Ⅲ相臨床試験(G-SOX 試験) 神経毒性(85.5%)、好中球/顆粒球減少症(68.9%)、悪心(61.5%)、下痢(48.2%)、嘔吐(34.9%)、口内炎(32.2%)、発熱性好中球減少症(0.9%)

【薬学的ケア】

投与量の確認

✓ 腎機能障害時には以下の目安を参考にティーエスワンの減量を確認してください。

(クレアチニン・クリアランスは血清クレアチニン値をもとに CG 式により算出)

投与開始前のクレアチニン・クリアランス	用量調節
重篤な腎障害のある患者 30mL/min 未満	投与不可
腎障害のある患者 30～40mL/min	2 段階減量

	40～60mL/min	原則として1段階以上の減量
	60～80mL/min	必要に応じて1段階減量

□ 末梢神経障害に対する対応

- ✓ 急性症状は、一過性の四肢末端、口およびその周囲のしびれ感や感覚異常であり、呼吸困難や嚥下障害を伴う咽頭喉頭感覚異常(絞扼感)などを伴うことがあります。ほぼ必発で起こります。
- ✓ 慢性症状は、知覚異常、感覚鈍磨などの手足の機能異常で、総投与量(≥オキサリプラチン累積投与量850mg/m²)に依存して発症、増悪します。日常生活への支障が生じている場合(Grade3)には、オキサリプラチン休薬等の対応が必要になるため、以下の症状の確認をお願いします。

日常生活制限 Grade2～3 に該当する具体的な症状

服のボタンがとめにくい、ものをよく落とす、歩行や駆け足がうまくできない、つまづくことが多い、階段が上れない、文字がうまく書けない、水がとても冷たく感じる、飲み込みにくい、食べ物の味が変わった

- ✓ 手足、口腔内のしびれは寒冷刺激で誘発されるため、冷たいものにできるだけ触れない、冷たい飲食物をできるだけ摂取しない、洗面や手洗いは温水を使用する、炊事や洗濯時は厚めの手袋を着用する、エアコンなどの冷気には直接当たらない、寒い場所や部屋はさけるよう指導してください。

□ 血管痛に対する対応

- ✓ オキサリプラチンは末梢血管からの投与により血管痛・血管炎を起こしやすい薬剤です。点滴部位に腫脹や発赤がある場合は、刺入部位を保温することで、軽減されることがあります。

□ 過敏症の確認

- ✓ オキサリプラチン投与中や投与後に現れることがあります。プラチナ系の抗がん剤は、初回のみでなく7～8コース後に起こる場合が多いため、息苦しさ、かゆみ、皮疹、発赤などの症状を確認し、症状があれば病院に連絡してください。

□ 眼障害に対する対応

- ✓ ティーエスワンにて涙道狭窄、角膜上皮障害(角膜びらん、角膜潰瘍、角膜炎)、結膜炎、眼痛などの副作用が報告されています。流涙(涙が止まらない)、光がまぶしく見える、目の痛み、充血などの症状を確認した場合は病院に連絡してください。

□ 併用薬の確認

- ✓ **併用禁忌: ティーエスワン+カペシタビン**
→カペシタビンが併用されていないこと、および投与中止後の適切な間隔(最低7日間)があいていることを確認してください。
- ✓ **併用注意: ティーエスワン+ワーファリン**
→血液凝固能検査値異常、出血の発現が報告されているため、ティーエスワン開始時には血液凝固能検査を確認してください。当院では、可能な限りワーファリン→DOACへ変更で対応しています。